

(様式)

教育研究推進校（1年次）連絡会資料

令和7年11月27日
大田区立御園中学校

1 研究主題

「全ての子供たちへのよりよい教育の実現」を目指したカリキュラム・マネジメント～御園中学校版おたの未来づくり（キャリア探究）の実施に向けた取組～

2 研究主題設定の理由

個別最適・協働的な学びの実現、学校における働き方改革、地域・保護者との連携・協働を通して教育活動の質の向上を図る。

3 目指すこども像

「多様性を尊重し、自分や人を大切に生きていく生徒」「意欲をもって自ら学び、考え、主体的に行動する生徒」「自らの可能性を伸ばし、ともに未来を創り出す生徒」「地域とつながり、社会の一員として貢献しようとする生徒」

4 研究仮説

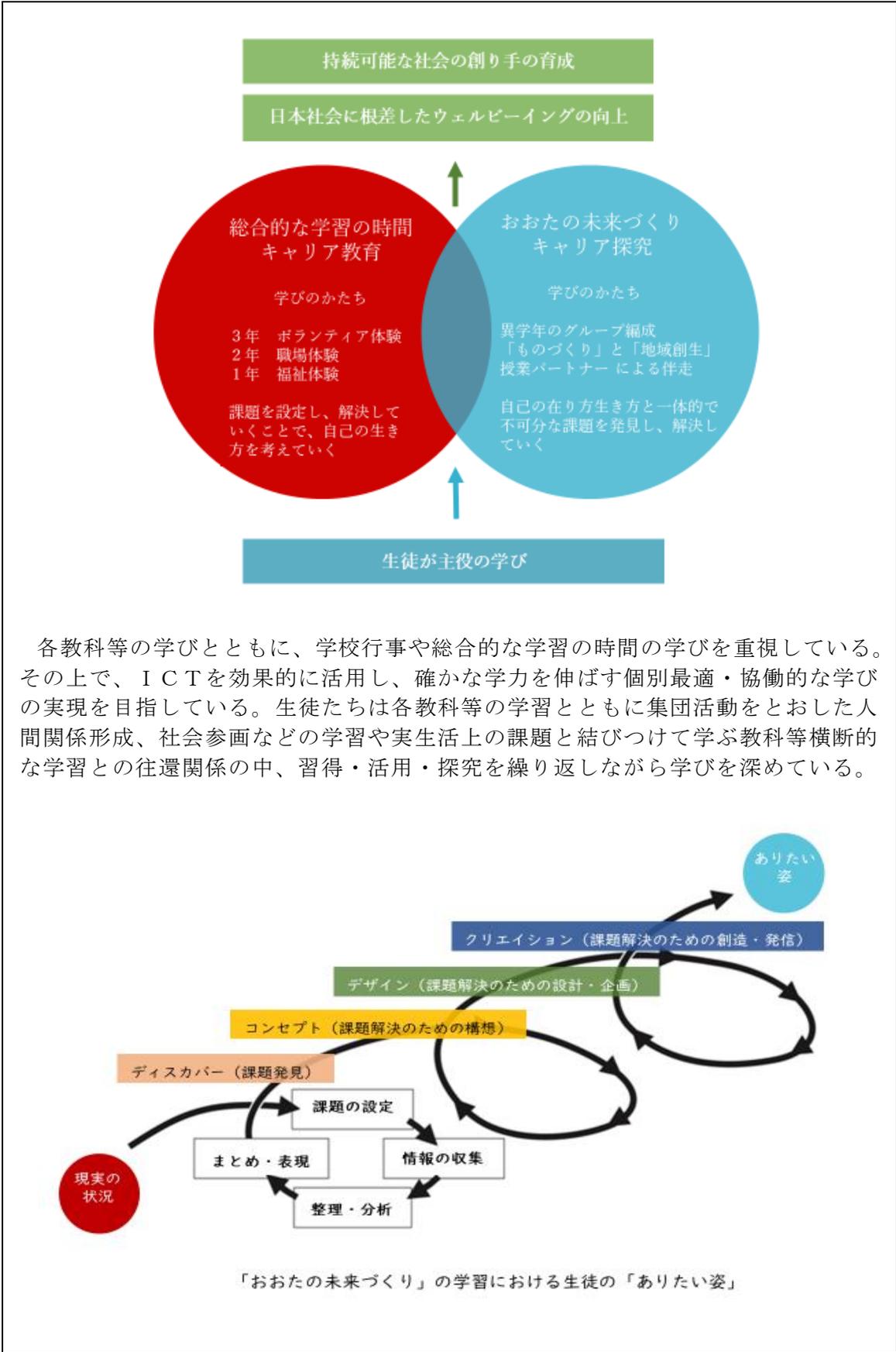
全ての子供たちへのよりよい教育の実現するためのカリキュラム・マネジメントを確立することで教育活動の質を一層高めることができる。

5 研究構想図

御園中学校 × おたの未来づくり × キャリア探究 Misono × STEAM × Career (MSC)

Misono×STEAM×Career (MSC) は、御園中学校の探究的な学習プログラムです。MSCプログラムは、科学・技術・工学・人文社会・芸術・数学 (STEAM) を基盤とした教科等横断的な学びと、実社会の課題解決を目指すキャリア探究 (Career) を組み合わせています。MSCプログラムでは、生徒の主体性 (エージェンシー) と、仲間とともに取り組む力 (共同エージェンシー) を重視し、生徒・教師・地域の人々との協働を促します。ものづくりと地域創生に関する課題に取り組む中で、生徒の自己肯定感・自己有用感と創造力を育みます。MSCプログラムは、生徒の主体的な学びと探究を導くために、地域社会に根ざした分野と重要なスキルまたは視点を組み合わせた5つの主要なテーマ (フィールド×スキル) を軸に構成されています。テーマ1「ものづくり×イノベーション」、テーマ2「地域創生×コンサルティング」、テーマ3「アントレプレナーシップ×デザイン」、テーマ4「外国語×コミュニケーション」、テーマ5「食×ウェルネス」、これらのテーマの課題解決に取り組むことで、生徒は学びを自分ごととして捉え、創造力を高めるとともに、地域社会をよくするために必要なスキルを身に付けます。

テーマ	プロジェクト
ものづくり × イノベーション Manufacturing × Innovation	Project 1 ゼロからイチへ！つくろう！理想の未来プロジェクト 社会課題を見つけ、それを改善していくことに興味がある人におすすめ 例) 科学、技術、人文社会、デザインなど、専門的な視点から自分たちで考えます。
地域創生 × コンサルティング Regional Revitalization × Consulting	Project 2 蒲田の魅力をお届けします。蒲田Happinessプロジェクト テーマに沿って、アイデアを膨らませていくことに興味がある人におすすめ 例) 地域の創生を目指し、あいさつ運動や清掃活動、巨大アート制作等に携わります。
アントレプレナーシップ × デザイン Entrepreneurship × Design	Project 3 アイディアを形にします。アントレプレナーシッププロジェクト “アイデアを形にすること”や、“企画すること”に興味がある人におすすめ 例) 企業と共同して、新たな商品の開発や、広報活動等を行います。
外国語 × コミュニケーション Foreign Languages × Communication	Project 4 海外生徒との交流を実現します。国際理解・国際交流プロジェクト 世界中の人とつながりをもつことに興味がある人におすすめ 例) 国際理解の目的や意義を考え、海外生徒との交流実現を目指します。
食 × ウェルネス Food × Wellness	Project 5 人も地球も健康になる食を考えます。未来を創り出す！食プロジェクト “食”に興味がある人、“食べ物”について深く考えたい人におすすめ 例) 大学と共同して、新たな学校給食メニューの開発に携わります。



6 研究主題に迫るための手だて（研究の内容・方法）

○特色ある教育課程の編成とカリキュラム・マネジメントの推進

本校は令和7年度から大田区教育委員会中学校版「おおたの未来づくり」研究実践校として教科等横断的な学習（STEAM教育）の研究実践に取り組んでいる。以下に御園中学校版おおたの未来づくり（キャリア探究）の授業時数等の取扱いを紹介する。

総合的な学習の時間を活用し、年間22～27単位時間で実施している。今後は一部の教科から1～4単位時間をおおたの未来づくり（キャリア探究）の授業時数として振り替える。振り替えた一部の教科の授業時数、内容事項は、おおたの未来づくり（キャリア探究）の学習の中で補完して取り扱う。

一方、総合的な学習の時間（キャリア教育）は年間23～43単位時間で実施している。第1学年「福祉体験」、第2学年「職場体験」、第3学年「ボランティア活動」など、人、社会、自然に直接関わる体験活動を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成している。今後は一部の教科と同様に総合的な学習の時間の一部の授業時数、内容事項は、おおたの未来づくり（キャリア探究）の学習の中で補完して取り扱う。

○御園中学校版おおたの未来づくり（キャリア探究）の実践

おおたの未来づくりは、大田区の特徴や中学校の専門性を生かした教科等横断的な学習（STEAM教育）である。おおたの未来づくりでは生徒が探究課題を設定し、授業パートナーと連携しながら、未来社会・地域社会・大田区のWell-beingの実現のために、新たな「もの」「取組」「仕組」等を創造することで課題解決を目指している。大田区独自の学習過程である探究のサイクル（ディスカバー・コンセプト・デザイン・クリエイション）を生かし、探究の学習における4つのプロセスの質的充実を図り、授業パートナーと連携した探究学習を実施している。

以下に総合的な学習の時間を活用した御園中学校版おおたの未来づくり（キャリア探究）の実践を紹介する。

本校ではキャリア探究プログラム（Misono×STEEM×Career）を実施している。科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、人文社会、芸術・デザイン（Liberal Arts、Arts）、数学（Mathematics）及びSDGsを基盤とした教科等横断的な学習（STEAM教育）と、実社会の課題解決を目指す探究的な学習を組み合わせている。異学年のグループを編成するとともに「ものづくり」と「地域創生」を中心とする「ものづくり×イノベーション」「地域創生×コンサルティング」「アントレプレナーシップ×デザイン」「外国語×コミュニケーション」「食×ウェルネス」の領域ごとにプロジェクト（異学年チーム）を構成し、地域社会の課題解決に取り組んでいる。外部講師を活用し、民間企業や大学など、授業パートナー（外部授業協力者）による伴走（フィードバック・評価・協働）を生徒主導の探究的な学習に取り入れている。

○「全ての子供たちへのよりよい教育の実現」を目指した学校業務の効率化

本校では、外部コンサルタントの助言や支援を受けながら「全ての子供たちへのよりよい教育の実現」を目指して学校業務改革に取り組んでいる。業務改善の効率化を図ることにより、カリキュラム・マネジメントの充実につなげている。教職員はプロジェクトごとのチームを編成し、実行計画を策定した。施策は可能なものから段階的に導入し、業務改善を着実に進めている。「組織的マネジメント」「役割分担の明確化」「校務の効率化・情報化」「カリキュラム・マネジメントの推進」「地域

との連携・協働」「教育委員会との連携」の6つの視点から業務改善を推進している。
 また、コミュニティ・スクールとして、地域・保護者との連携・協働による「持続可能な社会の創り手の育成」及び「地域社会に根差したウェルビーイングの向上」を目指した地域とともにある学校づくりを推進している。

7 研究経過（今後の予定も含む）

6月18日	校内研修	講師	大田区教育委員会指導課 遠藤 健太指導主事
7月15日	特別授業	講師	東邦大学医学部社会医学講座 朝倉 敬子教授
8月28日	研究全体会 基調講演	講師	日本女子大学人間社会学部教育学科 松尾 廣文 特任教授
9月19日	特別授業	講師	文部科学省アントレプレナーシップ推進大使・早稲田大学戦略センター 島岡 未来子 教授
2月18日	研究授業	講師	日本女子大学人間社会学部教育学科 松尾 廣文 特任教授
3月6日・7日	探究学習発表会	講師	授業パートナー（外部授業協力者）

8 研究成果の検証方法

1 事後アンケート調査（生徒）

Google フォームを使用し、取り組んだ感想とともに「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「将来の夢や目標をもっている」「（1、2年生のときに受けた授業では）課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」をアンケート調査する。

生徒は「1. とてもそう思う」「2. そう思う」「3. あまりそう思わない」「4. 思わない」で回答する。

2 大田区学習効果測定及びWEBQUの結果分析（生徒）

3 学校評価の結果分析（教職員・地域・保護者）

